



UN World Conference on
Disaster Risk Reduction
2015 Sendai Japan

第3回国連防災世界会議関連事業

実施概要

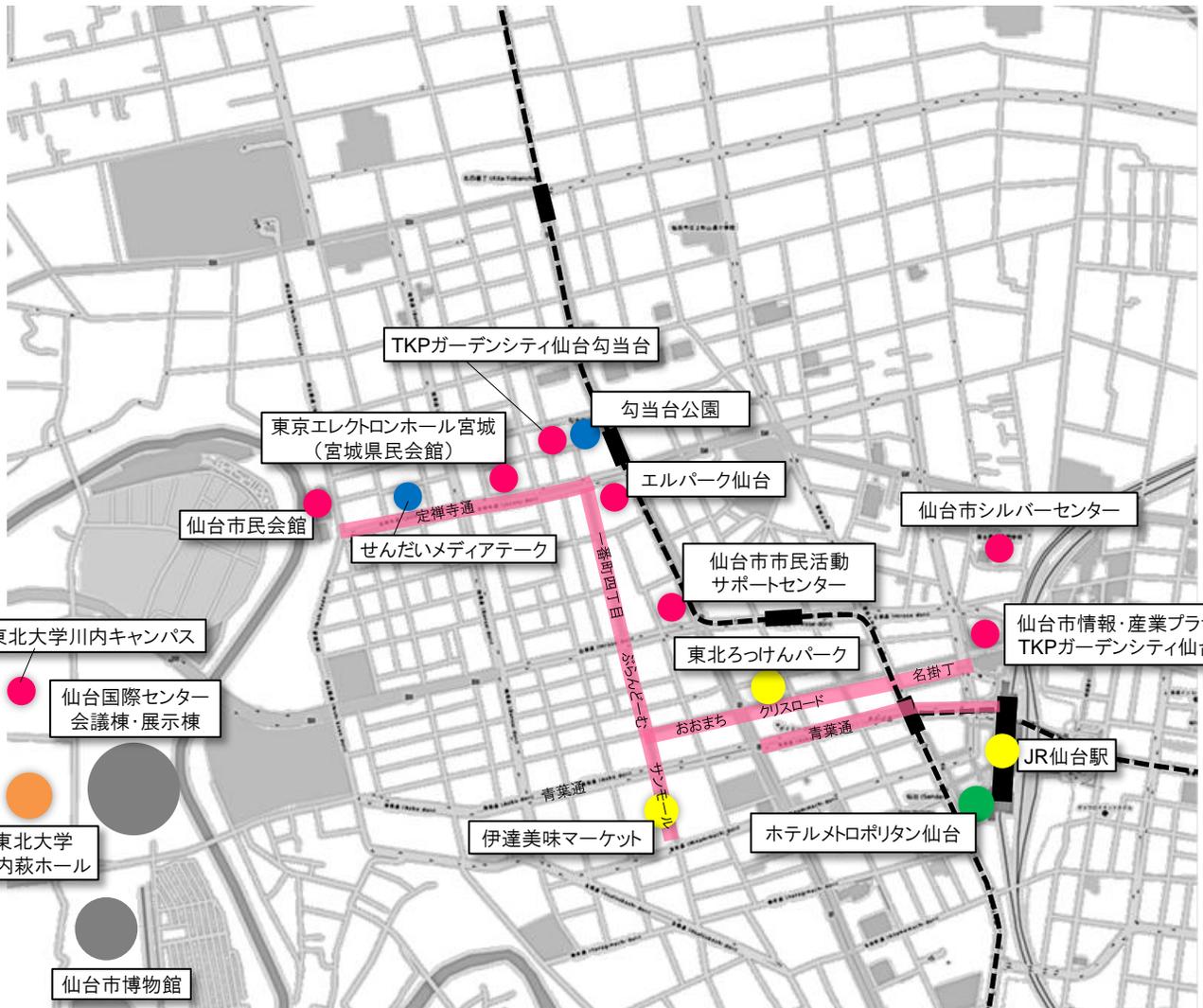
平成26年10月31日

スケジュール(予定)

● スケジュール

	3月						
	14 (土)	15 (日)	16 (月)	17 (火)	18 (水)	19 (木)	20 (金)
■ 本体会議 仙台国際センター(会議棟、展示棟)	「兵庫行動枠組」の後継枠組となる次代世界防災戦略の策定等						
■ 関連事業							
パブリック・フォーラム							
○ 総合フォーラム 東北大学川内萩ホール	パブリック・フォーラムの中核事業としてシンポジウムを日本政府等が開催						
○ シンポジウム・セミナー 仙台市民会館、東京エレクトロンホール宮城 ほか	国内外の諸団体が防災・減災の取組や復興に向けた活動を発表						
○ 展示会・ポスター展示 せんだいメディアテーク ほか	国内外の諸団体が防災・減災の取組や復興に関わる展示						
○ 屋外展示 勾当台公園	防災・減災をテーマにした諸団体の出展や物販・飲食等を通じた国際交流エリアを想定						
○ 防災産業展 in 仙台 夢メッセみやぎ	災害に強い地域づくりに貢献する関連技術・製品の「現物」を展示						
歓迎、情報発信							
○ 歓迎装飾 仙台駅、仙台空港、商店街 ほか	世界から仙台に来る会議参加者の歓迎と開催機運の向上。1月中旬から掲出予定						
○ 歓迎レセプション ホテルメトロポリタン仙台	歓迎と交流 東北の魅力発信						
○ 配偶者プログラム	会議参加者の同伴者限定。仙台の魅力や日本文化でおもてなし。						
○ スタディツアー(被災地公式視察)	被災地の復旧・復興状況や防災技術などを視察していただく。世界の防災戦略策定に貢献						
○ エクスカーション	東北の魅力発信 エクスカーション						
○ 東北おもてなしセンター 仙台市博物館	会議の合間に、参加者をおもてなし。仙台・東北の伝統文化の紹介や実演、物産提供など						

会場マップ



- 本体会議会場
- 総合フォーラム会場
- シンポジウム・セミナー会場
- 展示会会場
- 歓迎レセプション会場
- 観光物産展等
- 歓迎装飾検討場所

● 総合フォーラム

パブリック・フォーラムの中核事業として、より良い復興、新たな防災のあり方を展望する(仮)東日本大震災 総合フォーラムを開催する。

【会 場】 東北大学川内萩ホール

【期 間】 2015年3月14日(土)～18日(水)

【規 模】 1000名程度× 8セッション (5日間合計)

【主 催】 日本政府、実行委員会

【参加者】 事前登録制。本体会議参加者や市民・国民が広く参加。

テーマ・構成(調整中)

日程		セッション	テーマ
14日 (土)	午前	(本体会議-開会式)	
	午後	第1セッション	政府
15日 (日)	午前	第2セッション	メディカルフォーラムin仙台
	午後	第3セッション	政府
16日 (月)	午前	第4セッション	政府
	午後	第5セッション	人づくり・防災教育と持続可能な開発のための教育(ESD)
17日 (火)	午前	第6セッション	政府
	午後	第7セッション	東日本大震災の経験・教訓を踏まえた巨大地震への対応 ～災害廃棄物対策に関わる事前の備えと官民連携
18日 (水)	午前	(本体会議-閉会式)	
	午後	第8セッション	多様な主体の参画による復興と防災の未来



東北大学川内萩ホール

● シンポジウム・セミナー

国内外の多様な主体が主催するシンポジウム・セミナーを開催する。

【実施期間】 2015年3月14日(土)～18日(水)

● 一般公募事業(国内外の多様な主体が主催)

【会 場】 仙台市民会館、東京エレクトロンホール宮城、東北大学川内キャンパス、仙台市情報産業プラザ、
仙台市シルバーセンター、TKPガーデンシティ仙台、TKPガーデンシティ仙台勾当台

【規 模】 300を超えるシンポジウム・セミナー等が実施される予定 ※審査中

【主催者公募スケジュール】

7月11日	公募開始
9月16日	公募終了
10月31日	会場・日程の総合調整、主催者への採用通知
11月末	実施内容等の確認
12月頃	実施概要公表
2月まで	実施調整



● テーマ館(2施設)

【会 場】 仙台市市民活動サポートセンター

【テーマ】 市民協働と防災

【運 営】 「防災からまちづくりを考える」実行委員会
(事務局: せんだい・みやぎNPOセンター)

【実施概要】

仙台市及び宮城県、岩手県、福島県で活動するNPO等の活動や、地域・団体間で生まれた被災地での連携の事例に関するシンポジウムやワークショップ、展示などを行うとともに国内外の団体間の情報交換、交流の機会を創出する。



【会 場】 エル・パーク仙台

【テーマ】 女性と防災

【運 営】 仙台市、(公財)せんだい男女共同参画財団

【実施概要】

男女共同参画の視点での支援活動や防災・減災に取り組んでいる様々な団体との協働により、連続シンポジウムを実施するほか、参加者が自由に訪れることのできる交流・情報スペースを開設し、ミニイベントや展示等を実施する。

● 4県主催事業

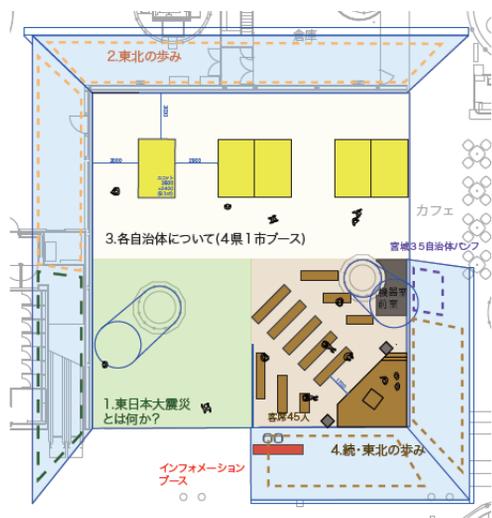
【会 場】 青森・岩手・宮城・福島県内会場

【実施概要】 各県にて企画(調整中)

● 東北防災・復興パビリオン

- 【会場】 せんだいメディアテーク1階 オープンスクエア
 【期間】 2015年3月14日(土)～18日(水)
 【主催】 実行委員会、青森県、岩手県、宮城県、福島県、仙台市
 【概要】

東北の被災県及び宮城県内市町村と連携し、東北の防災・復旧・復興に関する展示を実施。震災の経験や教訓を世界へ発信するとともに、仙台・東北の未来を広くアピールする。



※イメージ図

● 防災・復興に関する展示

- 【会場】 せんだいメディアテーク5・6階、 仙台市民会館
 【期間】 2015年3月14日(土)～18日(火)
 【主催】 実行委員会
 【出展者】 公募による国内外の諸団体が出展予定。
 【規模】 214ブース
 【概要】 展示・プレゼンテーションを通じた防災意識の向上及びグローバルな交流を促進する。



● ポスター展示

- 【会場】 調整中
 【期間】 2015年3月14日(土)～18日(火)
 【主催】 実行委員会
 【出展者】 公募による国内外の諸団体が出展予定。
 【規模】 約100枚
 【概要】 ポスターによる防災活動や復興の取組を紹介。



● 屋外展示会

【会場】 勾当台公園

【期間】 Aブロック(勾当台公園いこいのゾーン) : 2015年3月14日(土)~15日(日) 10:00~15:00

Bブロック(勾当台公園市民広場): 2015年3月14日(土)~18日(水) 10:00~15:00

【主催】 Aブロック 仙台市危機管理室

Bブロック 実行委員会

【出展者】 Aブロック 消防、警察、団体・企業 等

Bブロック 自衛隊、団体・企業 等

【実施概要】

防災・減災の取組や国際交流に関する展示やイベントを実施。街なかの「賑わいを創出」し、広く市民の関心を高め、シンポジウム・セミナー・展示会(メディアテーク)への参加促進を図る。

Aブロック【主催】 仙台市

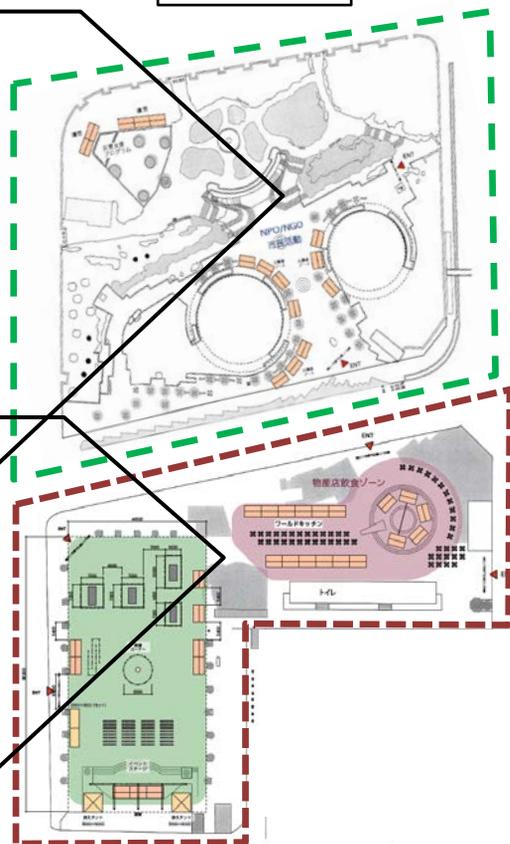
国連防災世界会議や防災に対する関心を高めるために、市民の安全・安心な暮らしを支える基盤となる防災技術や取組、新しいアイデア等をプレゼンテーションし、発見や体験を通じて、一般市民や会議参加者に広く気づきを与える。

Bブロック【主催】 実行委員会

市民や来場者が海外の文化や料理が気軽に楽しめる空間を創出するとともに国内外から訪れる会議参加者と市民の交流を促し、参加し楽しく学びあえるようなプログラムを展開する。

※ 各公園のゾーニング、コンテンツ、ブース位置等は現在検討・調整中。

勾当台公園



Aブロック(いこいのゾーン)



Bブロック(市民広場)

● 防災産業展 in 仙台

【期 間】 2015年3月15日(日)～17日(火)10:00～17:00

【会 場】 夢メッセみやぎ 展示棟・屋外展示場 (入場無料)

【主 催】 内閣府, 宮城県, (株)日刊工業新聞社

【共 催】 仙台市, (一社)東北経済連合会, (一財)みやぎ産業交流センター, (株)河北新報社

【実施概要】

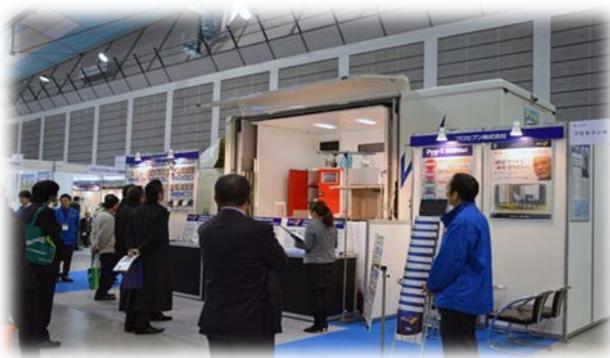
震災による津波被害から完全復旧を果たした「夢メッセみやぎ」を会場に、災害時に役立つだけでなく、平時の快適性・経済性・環境性等の向上に貢献可能な我が国の防災関連技術・製品の「現物」を展示。国連防災世界会議の関係者を被災沿岸部へ呼び込むとともに、我が国の優れた防災技術の発信を通じて、世界の防災力向上と防災産業市場の拡大を図る。

(オープニングイベントとして防災産業に関するシンポジウム開催を検討中。)

展示内容 (予定)

地震等の災害対策, 避難所・帰宅困難者支援, BCP, ロボット, 植物工場・次世代農業, エネルギー対策 (スマートコミュニティ技術・エコカー等), 情報通信, 物流等の関連技術・製品等
(※ 会場のゾーニング・ブース位置等は現在検討中)

【出展イメージ】



会場位置図

■ 夢メッセみやぎ (仙台市宮城野区港3丁目1-7)

※ 本体会議会場から車で約30分



● 歓迎レセプション

【会 場】 ホテルメトロポリタン仙台

【日 時】 2015年3月15日(日) 19:00～21:00

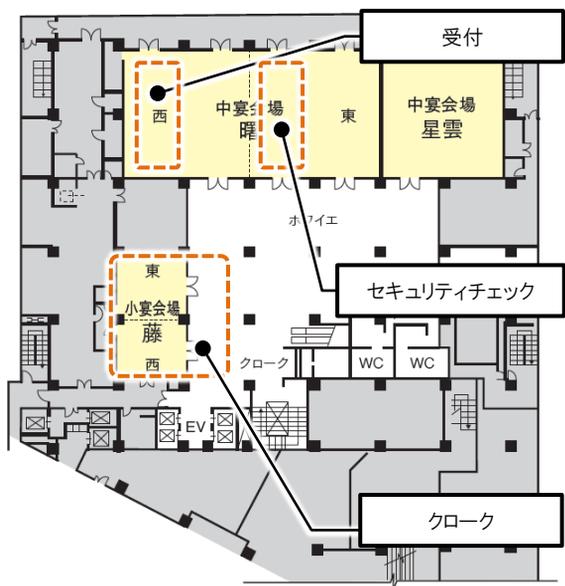
【参加者・規模】 本体会議参加者、地元関係者、協賛企業等、1,500名を想定

【主 催】 実行委員会

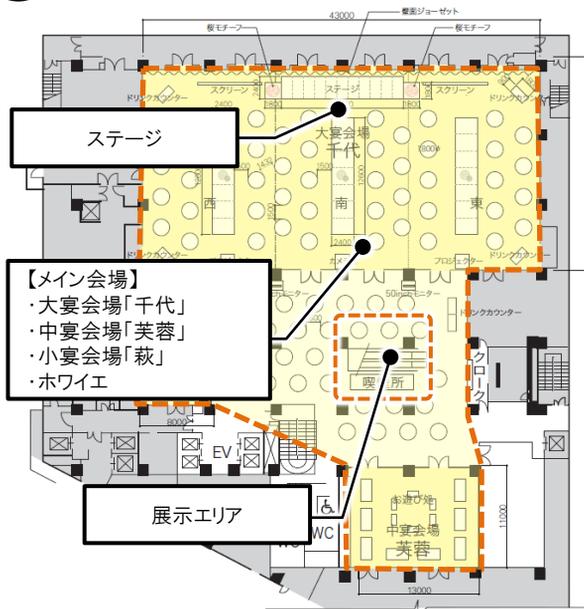
【概 要】

- 歓迎の意や復興支援への感謝を表するとともに、仙台・東北の魅力を広くアピールし、グローバルな交流を促進。
- 東北の豊かな食材を使用した料理を提供するなど東北らしさを演出、印象に残るおもてなしを行う。
- 東北の観光PRを行うとともに、伝統文化をアトラクションとして展開する。

3F



4F



※ レセプション計画について現在検討中



音と光が演出するスタイリッシュな空間が
あらゆる宴席にふさわしいバンケットシーンを創造

● スタディツアー(被災地公式視察)

会期中、本体会議参加者に被災地の現状を視察していただくことにより、東日本大震災の経験と教訓、復興の状況を力強く発信することを目的とする。

【実施期間】 2015年3月14日(土)～18日(水)

【参加費】 無料

【予約受付】 12月から、実行委員会のWebサイトにて受付開始。2月中に締め切り。

(空席がある場合、会期中の追加受付も検討する)

【予定コース】 全25コース。詳細は下表の通り。

日帰りでコースを組むことが可能な岩手県、宮城県及び福島県内のコースを設定。

	スタディツアー名(仮) 主な視察先	企画・運営	会期中の 催行回数 (予定)	旅程
1	津波への備え・多重防御見学コース 仙台東部沿岸(かさ上げ道路、荒浜地区、津波避難タワー等)	実行委員会	5	半日
2	津波被災地における自然の再生 蒲生干潟、南蒲生地区(居久根)、海岸公園冒険広場		1～2	
3	津波被災地における農業の復興 農業園芸センター、排水機場、養液栽培施設(植物工場)		2	
4	レジリエントな都市インフラ 南蒲生浄化センター、ガス局港工場		1	
5	津波被災した小学校の校舎内視察 荒浜小学校		2	
6	レジリエントで、地球に優しいまちづくり 田子西地区(エコモデルタウン)		1	
7	津波被災地・石巻における、人々のなりわいの復興 日和山公園、石巻市内工場、門脇小学校、復興情報交流館等		1	
8	東北大学ディスカッションツアー 東北大学各キャンパス		4	
9	民間セクターによる災害リスク軽減 ～津波被災地のビール工場から学ぶ～ キリンビール仙台工場		2	
10	子どもたちへの防災教育 青陵中等教育学校		1	

(次のページに続く)

スタディツアー名(仮) 主な視察先		企画・運営	会期中の 催行回数 (予定)	旅程
11	障がい者インクルーシブな防災教育 宮城教育大学附属特別支援学校	実行委員会	1	半日
12	民間セクターによる災害リスク軽減 ～防災訓練を体験する～ 青葉通まちづくり協議会、藤崎		1	
13	津波被災地・閉上の復興 閉上地区、日和山、メイプル館(名取市)		1	
14	津波被災地・閉上の復興(朝市コース) ゆりあげ港朝市(名取市)		1	
15	津波よけ「千年希望の丘」と住民主体の防災まちづくり 千年希望の丘、メガソーラー、玉浦西地区		1	
16	官民連携による災害リスク軽減の取組み 色麻町、積水ハウス東北工場		4	
17	防災産業展 in 仙台 夢メッセみやぎ	内閣府、宮城県、 日刊工業新聞社	3	
18	福島第一原子力発電所の視察 福島第一原子力発電所	資源エネルギー庁	3	
19	福島・浜通りの復興のあゆみと、食の安全安心の取組 浪江町、南相馬市、相馬市内の漁港・復興公営住宅等	福島県	1	
20	福島・中通りの食の安全安心の取組 農業総合センター(郡山市)、除染情報プラザ等		1	
21	岩手県 陸前高田コース ※ 検討中	岩手県	1	1日
22	岩手県 釜石～遠野コース ※ 検討中		1	
23	岩手県 宮古コース ※ 検討中		1	
24	千年に一度の町づくり ～歴史に学んだ女川原発の安全対策～ 女川原子力発電所他(調整中)	宮城県	1	
25	トモダチ作戦と奇跡の復旧 ～仙台空港と事業継続マネジメント～ 仙台空港、仙台港、夢メッセみやぎ、JX日鉱日石エネルギー		1	半日

● エクスカーション

本体会議の終了後、東北6県の視察・各種体験を通じて、被災地における復興の現状とあわせ、東北の多様な魅力を発信することを目的とする。

【実施期間】 2015年3月18日(水)～20日(金)

【予約受付】 12月から、実行委員会のWebサイトにて受付開始。2月中に締め切り。

【予定コース】 詳細は下表の通り。一部コースは実施検討中。

エクスカーション名(仮) 主な視察先		企画・運営	催行回数	旅程	参加者負担金
1	東北最北の地青森の復興と、美しい冬を堪能する 種差海岸、蕪島、八戸港、ねぶたの家ワ・ラッセ、八甲田等	青森県	1	1泊2日	有料
2	リアスの復興と、津波に耐えた奇跡の湾 ルート検討中(塩竈・七ヶ浜・松島・石巻・南三陸・気仙沼)	宮城県	1		
3	世界遺産と世界で最も美しい湾 松島(観光船・瑞巖寺等)、平泉(毛越寺・中尊寺等)	岩手県・ 宮城県	1	1日	無料
4	大自然の芸術品樹氷鑑賞と、雪国の伝統文化体験 蔵王温泉(樹氷・山形舞子)、最上川舟下り、銀山温泉	山形県	1	1泊2日	有料
5	浜通り・中通りの魅力と食の安全安心・環境回復の取組 和田いちご園、相馬中村神社、コラッセ、葛尾村、デコ屋敷等	福島県	1		
6	中通り・会津の魅力と食の安全安心・環境回復の取組 農業総合センター、再生可能エネルギー、鶴ヶ城、嘉永蔵等		1		

● 配偶者プログラム

会議参加者の同伴者を対象に、仙台・東北の魅力を感じていただくために、温泉旅館を活用した日帰り型プログラムを用意し、日本ならではの体験をしていただき、魅力をアピールする。

配偶者プログラム名(仮) 主な行先		企画・運営	催行回数 催行日	旅程	参加者負担金
1	日本三御湯「秋保温泉」で日本文化とおもてなし ※ 調整中	実行委員会	1 3/14(土)	1日	無料
	2		仙台の奥座敷「作並温泉」で日本文化とおもてなし ※ 調整中		

各コース 最大30名

● 歓迎装飾

街全体で歓迎ムードを創出し会議開催の機運向上を図るため、街なかや駅・空港等にフラッグ等を掲出する。

掲出検討場所	掲出物
商店街内(サンモール、ぶらんどーむ、一番町四丁目、おおまち、クリスロード、名掛丁)	フラッグ
仙台駅前商店街(ガス燈)仙台駅前周辺	
定禅寺通(街灯)東三番丁通～西公園通	
青葉通(街灯)愛宕上杉山通～東二番丁通	
仙台駅(2階中央改札口上部)	大型フラッグ
仙台空港ビル(国内線、国際線出入口上部)	看板
仙台空港駅 連絡通路	
仙台空港駅 通路	小型フラッグ

● 東北おもてなしセンター

会議参加者のリフレッシュスペースにおいて、東北各県の観光案内・伝統文化の体験などのおもてなしを通じて、仙台・東北の魅力をアピールする。

【会 場】 仙台市博物館内

【期 間】 3月14日(土)～18日(水)

【概 要】 ○ 東北各県と連携し、観光案内、物産紹介・提供
○ 伝統文化実演 (お茶、こけし絵付け等)

● 観光物産展等

国内外から訪れる方々のおもてなしと、仙台の街を楽しんでいただくため、観光物産展を複数会場で開催。

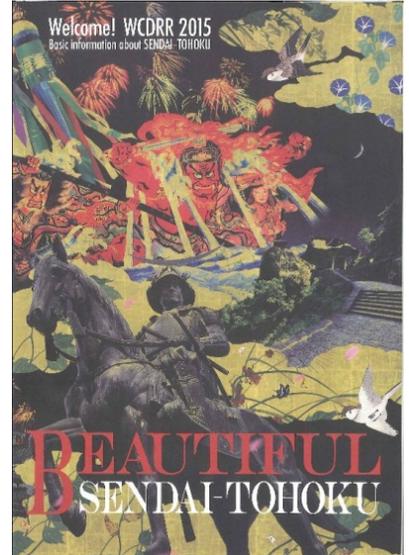
- 仙台駅構内での東北観光物産展 仙台駅2階中央広場 主催 JR東日本東北総合サービスほか
歓迎イベント開催調整中(すずめ踊り 3/14.15) 主催 仙台市
- 商店街内での観光物産展(内容調整中)
 - ・ 東北ろっけんパーク(クリスロード商店街内) 主催 仙台市
 - ・ 伊達美味マーケット(サンモール商店街内) 主催 伊達美味マーケット事務局



● 東北ガイドブック

東北の魅力を世界に発信するため観光情報などを掲載した東北ガイドブックを作成配布する。

- 7月先行版 A4 16ページ 作成部数 500部
 - ・ 国連経済社会理事会(7/7～11 ニューヨーク)にて150部配布
 - ・ 第1回政府間準備会合(7/14・15 ジュネーブ)にて300部配布
 - ・ 在京大使館国際機関説明会(7/18 外務省主催)にて配布
 - ・ 公式サイトにPDFデータアップ
- 会議参加者への配布版
 - ・ A4 24ページ程度、フルカラー、中綴じ。言語は英語/日本語。
 - ・ 発行部数 10,000部
 - ・ 発行時期 2月中旬
 - ・ 配布方法 会議参加者に配布するほか、案内所等でも配布。



● るるぶ特別編集「国連防災世界会議特集号」

仙台市経済局観光交流課で作成する、るるぶ特別編集「国連防災世界会議特集号」を発行。
滞在中、仙台の街を楽しんでいただく情報を掲載する。

- 概要
 - ・ 2015年2月中旬発行予定
 - ・ 部数 15,000部
 - ・ 16ページ+国連防災会議関連特集4ページの20ページ
 - ・ 日英併記、会議参加者に配布予定
- 掲載内容
 - ・ マップ(仙台駅から西公園まで)を中心にした情報(物産展、飲食店、免税店 等)
 - ・ 会議期間中のバスツアーや伊達武将隊街中ガイドツアー等の特別企画の情報
 - ・ 飲食店割引クーポン



● 子どもたちと世界を繋ぐタンブラープロジェクト

国連防災世界会議が、世界の未来のため、つまり、子どもたちのための会議であることを理解してもらい、
3. 11から未来に向けて力強く歩む子どもたち一人ひとりの思いを世界に発信する。

仙台市内小中学生4,000人が参加予定。



● 国際理解教育リーフレット

国連の概要、国連防災世界会議の概要などを紹介したリーフレットを作成し、リーフレットを活用した学習を全小中学校にて行う。

対象学年は、小学校5・6年生及び中学校2年生、約28,000人



● 「守ろう大切な命」「つくろう笑顔あふれる街」絵画・ポスターコンクール

仙台市PTA協議会において、毎年実施していた「守ろう大切な命」キャンペーンとしてのポスターコンクールを、今年度は第3回国連防災世界会議に向けて特別企画「絵画・ポスターコンクール」として実施する。

【実施概要】

- コンクール名 「守ろう大切な命」「つくろう笑顔あふれる街」絵画・ポスターコンクール
- 主催 仙台市PTA協議会
- 共催 仙台市教育委員会 第3回国連防災世界会議仙台開催実行委員会
- 作品テーマ 「守ろう大切な命」「つくろう笑顔あふれる街」「復興への想い」「未来への夢」等をテーマに児童・生徒の夢や希望が感じられる作品を募集。
- 募集対象 仙台市内の小中学生
- 作品展示 11月9日(日)のPTAフェスティバルにおいて全作品を展示するほか優秀作品を原画にしてカレンダーとポスターも作成



● 語学ボランティア

会議に参加する方々の案内誘導等をお手伝いいただく「語学ボランティア」を募集、養成し、スムーズな案内等を行うとともに、市民との交流を促進する。

学生に関しては、仙台観光コンベンション協会で行っている「学生サポーター」への同時登録を呼びかけ、国際会議受け入れ支援体制の整備を進める。

● 概要

【活動期間】 2015年3月12日（木）～ 19日（木）（予定）

【活動時間】 概ね午前7時から午後7時までの時間帯（最大8時間/日）

【活動場所】 ・ 国連防災世界会議本体会議会場（仙台国際センター等）
・ 関連事業会場（せんだいメディアテーク等）、仙台空港、仙台駅等を想定

【活動内容】 ・ 会場内外での案内誘導業務
・ 駅・空港等での案内業務
・ ツアー等における同行、案内業務 など

【活動条件】 ・ 交通費(2,000円/日)を支給。
・ 活動時間帯に応じて、食事または食事代を支給。
・ 事務局でボランティア傷害保険に加入。



● 募集・養成スケジュール

4月17日	募集開始
5月30日	応募締切
6月27日・28日	面談会（語学レベルチェック）
7月25日・26日	第1回研修会 国連防災世界会議概要、国際会議概要・プロトコル
9月28日・29日	第2回研修会 接遇、ボランティアの役割と活動の基本 追加面談会
10月24日・25日	第3回研修会 被災地視察
11月28日・29日	第4回研修会 観光地視察
1月30日・31日	第5回研修会 国際会議開催地としての仙台市基本情報
2月14日・15日	第6回研修会 係別研修
3月9日	第7回研修会 オリエンテーション（基本ルール等）、結団式
3月12日	業務開始
3月19日	業務終了

● 現在の数

- 応募総数・・・546名
- 9月29日現在採用数・・・410名



接遇研修

様々な媒体を活用し、効果的な広報を展開する。

● 身近な媒体を活用した定期的な露出

- 市政だよりへの記事掲載
- ホームページ 2013年11月開設 随時情報更新
英語ページ 2014年7月10日(木) 公開
- SNSによる情報発信
 - ・ ツイッター 2014年6月22日(日)運用開始
 - ・ フェイスブック 2014年7月25日(金)運用開始
- 河北新聞等への広告出稿



● プレイベントの開催

- 1年前 2014年3月1日(土) 1年前シンポジウム
- 半年前 2014年8月31日(日) 半年前フォーラム
- 直前イベント 2015年1月予定

● 印刷物の配布

- ポスター 3,500枚
- チラシ 30,000枚

● PRグッズの配布

- 缶バッジ 80,000個
- ピンバッジ 15,000個
- 紙バッグ 5,000個



● 各種イベントでのPR、市民メッセージ収集

防災関連展示会やシンポジウムなど各種イベントでのプレゼンやパネル出展、市民メッセージ収集等により会議開催PR

- 市民メッセージ収集
- プレゼンテーション等によるPR
- イベントへのブース出展
- イベントでのパネル・ポスターの展示・ちらし・グッズの配布 等



● メディアタイアップ

在仙メディアの自由な企画による周知広報、番組制作及びスポットCM等により会議開催に向けた機運醸成を図る。ある程度の資金を提供することにより、“自社事業”として、積極的な取組を促進し、拡大させる。

- 参加メディア
河北新報、東北放送、仙台放送、宮城テレビ、東日本放送、FM仙台

第3回国連防災世界会議仙台開催に向けた東北4県の取組み状況

■東日本大震災の経験と教訓の発信

東北4県（青森・岩手・宮城・福島）の主な取組み

- ・ せんだいメディアテーク「東北防災・復興パビリオン」における各県ブース出展
- ・ せんだいメディアテーク「東北防災・復興パビリオン」におけるステージ発表
- ・ その他、以下の各県独自の取組みを実施

青森県

- ・ 八戸市内においてパブリック・フォーラム（シンポジウム）を主催。
タイトル：『青森から「防災公共」の発信
～人命を守ることを最優先とする「防災公共」の取組～』

岩手県

- ・ 一関市内においてパブリック・フォーラム（シンポジウム）を主催。
タイトル：『「文化財と防災」シンポジウム』
- ・ スタディツアーの実施。
- ・ (参考) 岩手県内において他自治体が主催するパブリック・フォーラム（シンポジウム）
開催地：陸前高田市
主 催：国連開発計画、日本障害フォーラム、陸前高田市
共 催：シンガポール政府
タイトル：『(仮) 復興の力：「ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくりに向けて』』

宮城県

- ・ 仙台市内においてパブリック・フォーラム（シンポジウム）を6件主催。
 - ①タイトル：つながりを力に～被災地の女性たちの声に応えた支援活動の広がり～
 - ②タイトル：(仮称)「東日本大震災における多重防御によるまちづくり計画の策定
 - ③タイトル：企業防災体験コーナー ～BCP（みやぎモデル）を体験しよう～
 - ④タイトル：東日本大震災を踏まえた防災・減災に資する農業・農村の強靱化シンポジウム
 - ⑤タイトル：2015 下水道防災シンポジウム in 仙台
 - ⑥タイトル：(仮称)「被災建築物応急危険度判定について
- ・ 多賀城市内においてパブリック・フォーラム（シンポジウム）を主催。
タイトル：男女共同参画・多様な視点からの防災実践講座
- ・ 夢メッセみやぎにて「防災産業展 in 仙台」を主催。
- ・ スタディツアーの実施。

福島県

- ・ 福島市内においてパブリック・フォーラム（シンポジウム）を2件主催。
 - ①タイトル：『ふくしま復興を考える県民シンポジウム』
 - ②タイトル：『国際シンポジウム 複合災害からの復興と災害復興学の確立』
- ・ スタディツアーの実施。

■東北の魅力の発信

東北6県（青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島）の主な取組み

- ・ 地元主催レセプションなどへの食材・飲料等提供
- ・ エクスカーション（東北の観光地視察）の実施
- ・ 東北ガイドブックによる情報発信